

2022年度 駿河学院専門学校
学校関係者評価 報告書

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	特になし
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4			4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3	<p>中学校の延長という感覚で入学してくる生徒が増えてきている。</p> <p>義務教育の場とは環境が変わっていることに対し、理解が難しい生徒が多い。</p> <p>教えたことに対し、素直に話を聞けず、自分の価値観を変えることが難しい生徒も出てきている。</p>	<p>教育理念や教育目標について繰り返し生徒に説明していく。</p> <p>本人の価値観を否定するのではなく、考え方の幅を持つことができるような説明をしていく。</p>	3	

2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			特に意見はないが、デジタル教科書の導入は考えているのか。
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	2022 年度生より新カリキュラム		
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	学校独自の教材を作成しているが、社会科の教材の作成が他の教科と比較し遅れている。	2023 年度中に教材を完成させ、2024 年度からは学習に使用できるようにする。	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			
資格試験の合格率は	3	選択授業を取り入れており、自ら選択した授業において、資格取得の意欲の低さを感じる生徒がいる。	授業の選択をする際に、消極的な選択をするのではなく、積極的な選択をさせるようにする。	
資格試験不合格者の対策は	3	前年度に比べれば、不合格者に対し、対処する時間を設けることができたが、意欲の低い生徒に対して資格取得に向けた指導よりも学校生活上の指導が中心となる生徒が多く見られた。	資格取得に対し意欲の低い生徒に対し、意欲の低さについての指導より、合格できる可能性に向けた指導をするようにする。	
評価は適切な方法で行われているか	4			
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3	目標に達していない生徒については、資格同様に学習意欲の低い生徒が目立つ。フォローそのものを嫌がる生徒が増えた。	指導する側が諦めることのないように継続的な指導をしていく。	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			

3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	4			<p>中学生の進路選択が変わって来ている。 通学の便が良いところ(通学バスの有無)や通信制を選択するなど変化している。 お問合わせ等、ホームページからの問合せが増えてきている。 ホームページをもう少し活用したいところ。</p>	
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	3	私立高校の Web 出願が浸透したこともあり、私立高校同様に Web 出願や発表についての問合せがある。 募集要項に記載はされているが、検討が必要な内容でもある。			3
募集要項の内容は適切か	4				4
学校見学会の時期、内容は適切か	4				4
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4				4
志願者状況、定員充足率はどうか	3	入学数は横倍を維持している状況ではあるが、今後、更なる少子化の影響がある。 また、不登校生が増加傾向にあり、進路先も通信制高校を中心に多様化してきている。 全日制を選ばない傾向もでてきている。	専修学校として、魅力ある学校づくりをしていく。 この学校だからできる教育活動を増やしていく。		3
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4				4

4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4			専任教員、講師ともに人材の確保が難しくなっている。 人材の確保が難しくなっているのは学校だけではない。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	選択授業や習熟度別の授業の実施の関係で教員の人数を必要とする時間が増えた。 コロナによる出勤停止の職員が発生した場合の対応が必要となる。	全教員が授業に入っていることのないように、講師の人数を増やし対応する。	
教職員の業務分掌は明確になっているか	4			
教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4			
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4			
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4			

5. 施設・設備等

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			特になし
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			
実習設備は整備されているか	4			
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4			
保健室は適切に整備されているか	4			
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			
職員室の管理は適切に行われているか	4			
事務室の管理は適切に行われているか	2	事務のゴミ箱にゴミ箱に入れるべきではない書類が捨てられていた。	書類の扱いについて教員だけでなく、事務側にも共通認識を持たせる。	

6. 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	3	教員側から生徒と相談する時間を設けても、勝手に帰ってしまう生徒が増えてきている。	生徒に声をかけるタイミングを生徒のタイプによって変える。	3	葵区、駿河区の生徒が通学しているため、災害時に帰宅困難になる生徒はいないと思われるが、遠方から通学する生徒がいる場合は災害時の対応の準備をしておいた方が良いのではないか。 (帰宅困難者がいる場合)
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4			4	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7. 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4			4	特になし
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者評価委員会の意見として報告します。